

医療・環境保全・農村開発

医療支援

一人でも多くの命を救うために

母と子の命を支える両輪 — 助産所とコミュニティー活動 —

ナブサさんの6月22日付報告より

5月21日付で車代届きました。ありがとうございます。大切な資金はとりあえず銀行に預けて、緊急の患者搬送にも対応できる車を探しているところです。

先日、よい運転手が助産所チームに加わり、新しい修理屋も見つけて、患者搬送に何とか対応してくれています。ともに故人となった寄付者今泉誠子さん、気難しい車をなだめつつ、コミュニティー巡りに付き合ってくれた夫ハッサン。思い出が詰まった古い車ですが、二人とも、母子の命を守る新しい車の出番を心待ちにしていることと思います。



なお、求職中だった姪のジェブライアン医師の救急病院勤務が決まりました。ほっとしています。助産所での月1回の産婦人科検診の方も、引き続き担当できるということです。

今年1月から6月までに立ち会った出産は59件、月平均10人の赤ちゃんをとり上げました。うち、89%は保険加入しており、昨年と比べて出産数、保険加入者も増えています。

おめでとう！新生児の写真と出産証明書を手渡す助産師モナリサ

コロナで休んでいた家族計画プログラムもこの6月から再開しました。毎週末は男児の割礼手術を、妊婦検診は平日毎日実施と忙しい日程となっています。そのほか月1回はコミュニティー巡りと決めていて、特に産後の母子のケアに取り組んでいます。

HANDSの皆様の変わらぬご支援に感謝申し上げます！

— ビラーンの元奨学生からの緊急医療支援の要請、その対応のなかで見えたこと —

5月中旬、ボルルール村役場に勤める元奨学生ミエルナから、周りの臓器を圧迫するほどに肥大した筋腫手術にかかる緊急支援要請が届きました。同僚などのカンパに州と市の補助を合わせても、入院手術に要する15万ペソ(約35万円)にはとても足りないとのこと。ボルルールを含むCMIP地域に対する私たちの医療支援は、数年前、当時のCMIP代表の意向もあり終了しました。

何か方途がないかと、貧困住民のニーズを社会福祉省/DSWDにつなぐ役割を担っているボニファシオに助言を求めたところ、公立病院はコロナ患者限定で、やむを得ず私立に入院の患者はいずれも高額な支払いに苦慮しているとのことでした。ミエルナだけではなく、ボニファシオ担当の同じボルルールの患者3名分も合わせて、コロナ禍の下での緊急医療支援として予備費から約8万円を住民組織TBA経由で支援させていただきました。

この支援でとりあえず入院し、術前の精密検査を受けたミエルナからは、感謝の言葉とともに、「結核罹患がわかったので、当面は自宅療養をしながら、筋腫手術に備えて、地元メディアを通じた支援にもトライしたい」という連絡が入りました。特に貧しい家庭に育ち、病弱だったミエルナには寮生時代から何かと目をかけた結果、依存心が強くなったのではと気になっていましたが、メディア活用もという自助努力を確認できて安心しました。元奨学生一人だけ助けるわけにもいかない、コロナダルの医療事情を知るアニータさん他にも意見を求める中で、CMIPを通じての医療支援では見えなかったビラーン等の患者事情を垣間見ることができました。

ビラーンの村サラビアで始まった小規模アグロフォレストリー



2002年以降 PFP と協働した 25 件のアグロフォレストリー評価活動は、コロナによる移動制限で本年度はしばし中断し、環境保全分野は、農業指導者ボニファシオの地元コロナダルの市内バラングイ・サラビアでの新規小規模事業に限定しました。

6月中旬、傾斜地農法の理念・技術学習や、等高線状に苗木を植えるためのAフレーム(簡易水準器)使用の現地研修を終了したという報告が届きました。

進化が止まらないティヌオス地区女性組合/TWH



アニータ先生(一番左)指導の下、ティヌオス女性組合は進化を続けています。

レイクセブ町としては最辺境の村ティヌオスですが、山越えの幹線道路沿いにあり、セレベス海に面したムスリムの町につながります。人気の竹細工等を州都コロナダルの店に卸すだけでなく、自前の店舗で、6月初め竹造りの店を完成させました。さらに、「日用品も」の要望に「サリサリストア」機能も備えることになったという報告も届きました。

診療車購入支援

ご協力ありがとうございます！

「少しでもお役に立てば」「最優先の支援に」等々、前105号でお願いした助産所の診療車購入について、早速ご協力、ご寄付をありがとうございました！

中古車はそれぞれ一点ものです。5月中旬、改めて見定めている車の価格を確認しました。約100万円ということでした。手元に現金があればこれぞと思うものに出会った時、即契約ができます。皆様からは100万円を超える額をお預かりしていたので、とりあえず5月末に送金させていただきました。7/20時点で購入報告は届いていませんが、良いものがより安く入手できた場合は、あと一つ足りない必須機材、胎児診断超音波機器に回していただく予定です。(事務局)